

本フェーズのアプローチ

約1.5か月という**短期間でAI倫理審査運営に最低限必要な素地の整理**（チェックリストなどドキュメント群の更新、手引書の新規作成等）を行うため、**事業部を巻き込んだWorkshop型検証アプローチ**を取り入れた並行して、**目指す姿実現に向けた今後注力すべきポイント整理**も実施

注力テーマ	取り組む上でのポイント
A アセスメント チェックリスト の確認・助言	<ul style="list-style-type: none"> 実際の評価実施者/ビジネスケースを想定した現実的かつ必要十分な項目・評価基準（事業部・推進組織双方にとって実行可能な内容）となっているか
B 教育全体像/戦略 ・コンテンツ の検討支援	<ul style="list-style-type: none"> アセスメント回答に必要な知識と既存教育メニューとのGAPが無い 最終目標も見据え、全社的なAI倫理の理解と企業文化の醸成に向けて立上げ・定着ステップをどのように過ごすべきか
C アセスメント/ 倫理審査委員会 の実施支援 パートナー企業へのAIガバナンス検討	<ul style="list-style-type: none"> 今後の中核事業(FORXAI)を加速させる為、パートナー企業へのAIガバナンスの適用方法や責任分担の検討が必要 ベンチャーなど様々な企業がパートナーとなることを想定した現実的な方針整理が初手として必要

